

# まことの光

ヨハネのクリスマス①

2015/11/29 アドヴェント第一週

# 他の福音書のクリスマス

- **マタイ**

- アブラハム・ダビデの系図による計画性／約束の成就
- ヨセフへの受胎告知／聖霊による受胎
- インマヌエル

- **マルコ**

- その出生には全く関心なし
- まるでヨルダン川に突然現れたよう

- **ルカ**

- 最も詳細でロマンチックな描き方(バプテスマのヨハネの誕生・天使・羊飼い)
- マリアへの受胎告知／聖霊による受胎
- 生まれた次期,場所,出来事を詳細に描く



# 他の福音書のクリスマス

- マタイ
- アブ
- ヨセ
- イン
- マル
- その
- まる
- ルカ
- 最も
- の誕
- マリ
- 生ま

神様の特別な御業によって、人間としてお生まれになった

その誕生は偶然ではなく、深遠なる計画のもと、明確な目的を持って起こった

すべての人を救うために生まれた

誕生される前のことについては何も語らない



# ヨハネのクリスマス(福音書1:1~18)

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。

神から遣わされた一人の人がいた。その名はヨハネである。彼は証しをするために来た。光について証しをするため、また、すべての人が彼によって信じるようになるためである。彼は光ではなく、光について証しをするために来た。その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。



# ヨハネのクリスマス(福音書1:1~18)

言は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。この人々は、血によってではなく、肉の欲によってではなく、人の欲によってでもなく、神によって生まれたのである。

言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。



# ヨハネのクリスマス(福音書1:1~18)

ヨハネは、この方について証しをし、声を張り上げて言った。「『わたしの後から来られる方は、わたしより優れている。わたしよりも先におられたからである』とわたしが言ったのは、この方のことである。」

わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた。律法はモーセを通して与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである。いまだかつて、神を見た者はいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。



# キリストの永遠性

- 「初めに」(エン・アルケ)
  - “はじめから”“この世界が始まった時には既に”の意
- 「言が」(ホ ロゴス)
  - 冠詞”the”は男性形。人格を表している
  - 「ロゴス」はギリシャ哲学で使われていた用語
    - 「宇宙をコントロールしている根本原理」<ヘラクレイトスBC5C>
    - 「世界の魂」<ストア哲学BC3C>
    - 「自然を動かしている原理」<マルクス・アウレリウス(学識に長けたローマ皇帝)AD2C>
- 「あった」(エーン)
  - 未完了過去形のBe動詞:かつてあり今もあり続ける
  - キリストは人の姿を取られる前から存在しておられた



# キリストは神である

- 「言は神と共にあった」
  - “プロストン セオン”：「一緒」を表す“メタ”, “スン”ではなく
  - 「向かう(to)」の意：「神と向かい合う」
  - 神とキリストとの同等性・一体性を表す
- 「言は神であった」
  - “セオス エーン ホロゴス”：「神はロゴスである」
  - 「神とはロゴスのことである」
- 他の福音書ではイエスが神であることを明言しないが, ヨハネは冒頭から宣言している!



# キリストは創造主である

- 「万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。」
- 「万物」
  - 天地創造によってできた全てのもの
- 「言によって成った」
  - キリストは天地万物の創造主である
- 「言によらずに成ったもの」
  - “コーリス”：「離れて」「なしに」「無関係」
  - 万物はキリストによって生まれ、存在している



# キリストはまことの光である

- 「言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。…。暗闇は光を理解しなかった。その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。」
- 「言の内に命があった」
- “ゾーエー”：永遠の命のこと＞“プシュケー”一時的
- 「命は人間を照らす光であった」
- “エーン”：創造以前からあり続けている
- 「まことの光」
- 正真正銘の光。自ら光を放っている（太陽＞月）



# まことの光が世に来た

- 天地創造より以前からおられた
- 天地万物を創造し、維持しておられる
- 神御自身であられる
- まことの光である永遠の命をもつ方
- 暗闇にいる人間を照らすことのできる方

その方がまことの光を与えるために  
この世にこられた＝ヨハネのクリスマス